

多文化キッズサロン事業(東京都補助金事業)について

1 東京都補助金の概要

令和5年度からの東京都新規事業。東京都こども未来アクションの一部事業。

日本語を母語としない子供が安心して立ち寄ることができる地域の居場所として「多文化キッズサロン」を都内に設置し、日本語学習や教科学習、悩みや困りごとに寄り添う相談、地域の人や同じ境遇の仲間との交流を実現することで、多くの人とつながりながら、自分らしく暮らしていけるよう地域で一体的な支援を行うことを目的とする。「学習」「相談」「交流」の3つの機能を保有するものが補助対象となる。

補助率は整備費が100%、運営費は50%となっている(上限あり)。

八王子市では令和5年10月より補助金を受けて実施している。当初は目黒区と八王子市のみであったが、その他3自治体(福生市・西東京市・狛江市)で実施されている。

2 八王子市における実施状況(令和7年度)

(1) 八王子駅前教室及び北野駅前教室

ア 実施概要

(ア) 実施主体 特定非営利活動法人八王子国際協会

(イ) 実施場所及び日時

a 八王子駅前教室(八王子スクエアビル11階) 毎週月曜日16:00~18:00

b 北野駅前教室(北野市民集会所) 毎週水曜日15:00~17:00

イ 実施内容

従前より実施していた学習支援教室を拡充し、以下の事業を「多文化キッズサロン」として実施している。

(ア) 学習機能

- ・ 生活に必要な日本語の学習支援
- ・ 子供に合わせた個別対応
- ・ 長期休暇時の学習支援教室
- ・ 高校受験対策の支援
- ・ 学校の授業の復習や、宿題のサポート
- ・ 就学前サポート

(イ) 相談機能

- ・ 福祉や心理の専門家による相談を実施
- ・ 進路・進学ガイダンスを実施

(ウ) 交流機能

- ・ 子供向けワークショップを開催し、地域との交流を支援

(2) 高尾地区教室(令和7年4月開設)

ア 実施概要

(ア) 実施主体 ひまわり(拓殖大学外国語学部の教授や学生で構成された団体)

(イ) 実施場所及び日時 浅川小学校の余裕教室 毎週水曜日 15:30~17:30

イ 実施内容

大学の授業で培った知識や経験をもとに、学習機能をメインに実施される。

(ア) 学習機能

- ・ 生活に必要な日本語の学習支援
- ・ 子供に合わせた個別対応
- ・ 高校受験対策の支援
- ・ 学校の授業の復習や、宿題のサポート

(イ) 相談機能

- ・ 学習支援を実施する中で子供からの相談(進路相談含む。)に対応

(ウ) 交流機能

- ・ 地域イベントへの参加を実施(町会の餅つき大会)

【各教室の在籍者数等】

教室名	在籍者数	国籍数	小学生 ・未就学児	中学生以上 (18歳まで)
八王子駅前	20名	5か国	12名	8名
北野駅前	15名	6か国	6名	9名
高尾地区	4名	2か国	3名	1名

3 多文化キッズサロン事業の拡充について

市域全体で外国人住民が増えている状況であり、それに伴い、日本語を母語としない子どもたちも増えてきている。現在、八王子駅前、北野駅前及び高尾地区で実施しているが、市域が広いため、令和8年度より南大沢教室を開設する予定。

他のキッズサロン教室や市主催日本語教室の経験者が教室運営の中心となり、大学コンソーシアム八王子との連携を取り、多くの大学生ボランティアの支援を受けて教室を運営する。

概ね20名程度の学習者を受け入れるものとし、実施場所は南大沢小学校の余裕教室を活用することで、日本語学級に通級する生徒がキッズサロン教室にも通いやすい環境を整える。

4 課題

- ・ 多文化キッズサロンの教室の認知度が低く、様々な媒体を活用して周知を行う必要がある。
- ・ 長期的な視点に立って支援者を確保するための取り組みが必要